

ふるさとの日 — 福井県の誕生 — たん じょう

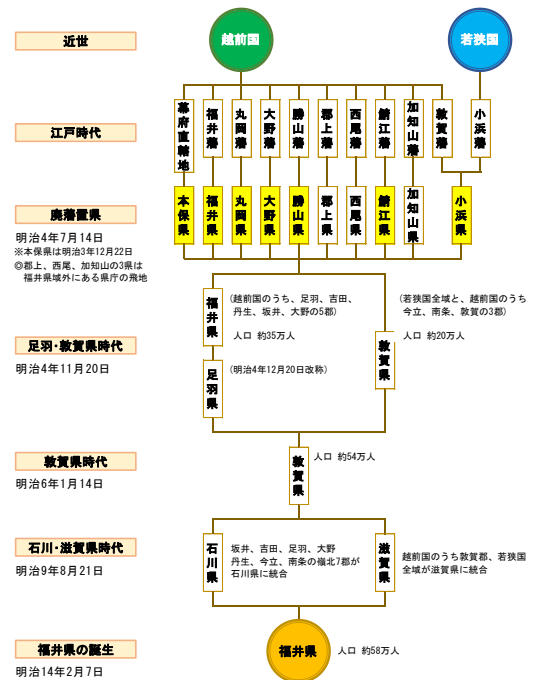
1871 (明治4) 年の7月14日、明治政府は、それまでの藩を廃止して県を置く、いわゆる廃藩置県はいはんちけんを行いました。

これにより、現在の福井県域には7つの県が設置されます。(※1) その後、合併がっぺいや県名の変更が行われますが、1876 (明治9) 年8月21日、木ノ芽峠きのめとうげを境に福井県(当時の名称は敦賀県)が分割され、現在の

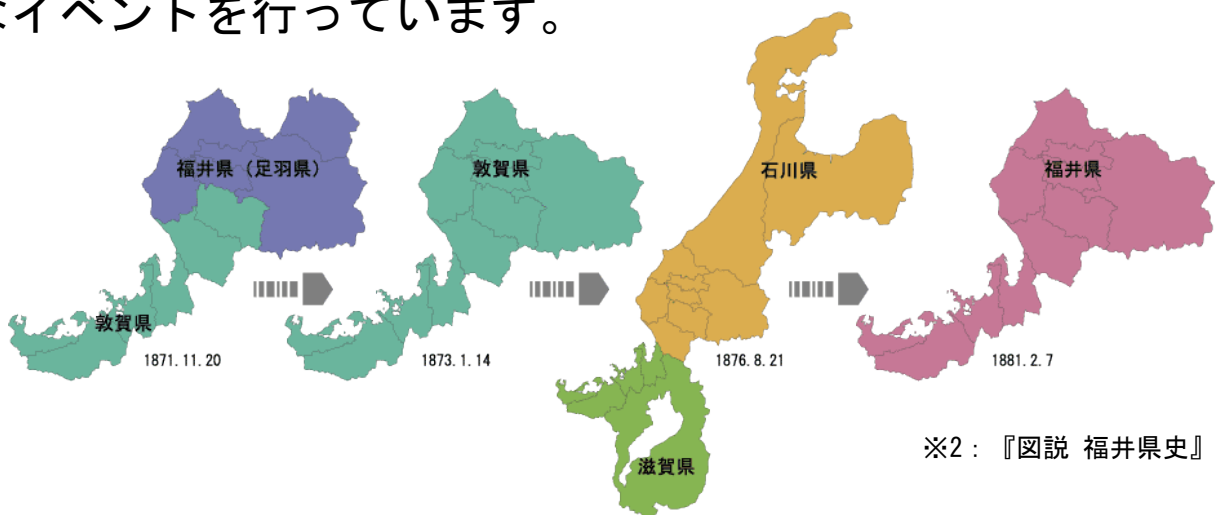
南越前町より北が石川県に、現在の敦賀市より西が滋賀県に編入へんにゆうされ、福井県は一時期消滅しょうめつしてしまいます。

5年後の1881 (明治14) 年2月7日、太政官布告たじょうかんという政府の命令が出され、嶺北が石川県から、嶺南が滋賀県から分離ぶんりされ、双方が合併して、福井を県庁所在地とした現在の福井県が誕生しました。(※2)

つまり、2月7日は福井県の誕生日たんじょうびなのです。ですから、福井県では、この日を「ふるさとの日」とし、現在もさまざまなイベントを行っています。



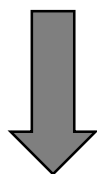
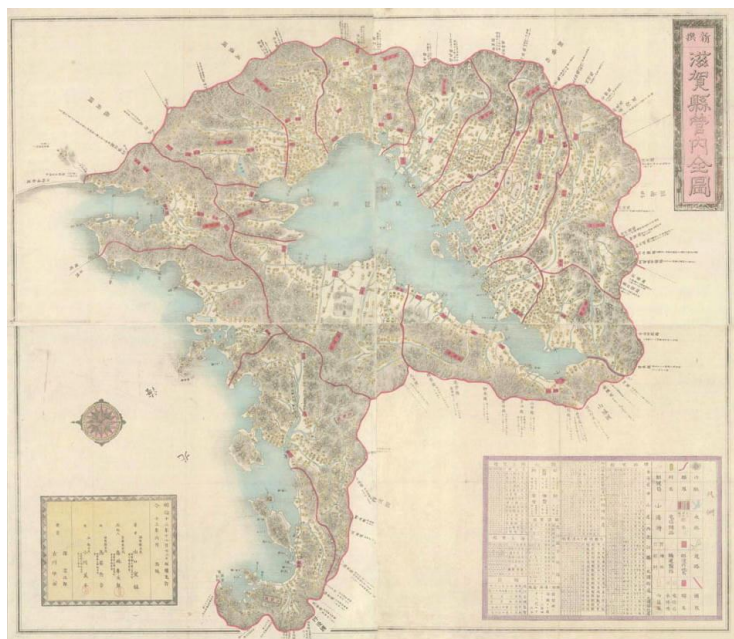
※1: 福井県ホームページより



※2: 『図説 福井県史』より

当時の滋賀県・石川県の地図

では、福井県が一時的に消滅^{しょうめつ}していたときに作られた、滋賀県と石川県の地図を見てみましょう。



90° 回転してみると…



左：『新撰滋賀縣管内全圖』1880(明治13)年 デジタルアーカイブ福井より
右：『石川縣管内圖』1878(明治11)年 デジタルアーカイブ福井より